



2009年 4月17日

会社名 J.フロント リテイリング株式会社  
 コード番号 3086  
 代表者名 代表取締役社長兼最高経営責任者  
 奥田 務  
 お問合せ先 経営計画本部 広報・IR部  
 TEL 03-6895-0178

## 2009年3月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告

### 1. セグメント別売上高対前年増減率 (%)

	3月度
百貨店業	▲13.5 (▲12.0)
スーパーマーケット業	▲7.9
卸売業	▲22.9
その他事業	▲33.1
連 結 合 計	▲14.4

(注) 百貨店業合計の ( ) 内は横浜松坂屋(08年10月26日百貨店営業終了)および今治大丸(08年12月31日営業終了)を除く既存店ベース。

### 2. 売上高概況

#### 1) 百貨店業

- ・ 3月の百貨店事業の売上高は、前年に比べ土曜日が▲1日減であったほか、婦人・紳士服とも売場特価など価格対応商品には動きが見られたものの、全般には定価商品の春物衣料品が不振であるとともに、宝飾・貴金属など高額品も不調であったため、大丸直営店は対前年▲12.4%減、松坂屋直営店は同▲13.4%減となり、大丸・松坂屋両百貨店事業合計では、既存店ベースで同▲12.0%減となった。

#### 2) スーパーマーケット業

- ・ ピーコックストア(08年9月に大丸ピーコック、松坂屋ストア、横浜松坂屋ストア、野沢商事の4社が合併)、新店効果(08年度中に6店舗出店)はあったものの、関西地区を中心に既存店が苦戦したことに、閉鎖店舗(08年度中に3店舗閉鎖)の影響も加わり、対前年▲7.9%減となった。  
 地区別では、首都圏が対前年▲7.4%減、関西地区が同▲10.2%減、中部地区が同▲2.4%減であった。

#### 3) その他

- ・ 卸売業の大丸興業は、電子や化学品・パッケージ、金属樹脂など全般に不調に終わり、対前年▲22.9%減となった。

お問い合わせ先	J.フロント リテイリング株式会社	広報・IR部
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

## 2009年3月度 大丸 百貨店業 営業報告

### 1. 店舗別売上高対前年増減率 (%)

	3月度	
	売上高	入店客数
心齋橋店	▲12.2	▲0.1
梅田店	▲13.8	12.9
東京店	▲7.3	▲9.6
ららぽーと横浜店	0.2	—
浦和パルコ店	▲6.6	—
京都店	▲14.2	▲5.9
山科店	▲5.6	—
神戸店	▲17.3	▲3.9
新長田店	▲10.6	—
須磨店	▲8.0	—
芦屋店	▲13.5	—
札幌店	▲8.0	▲2.6
直営12店舗計	▲12.4	▲2.1
博多大丸	▲5.2	▲2.7
下関大丸	▲10.4	▲9.2
高知大丸	▲10.6	▲8.0
百貨店業合計	▲11.4	—

(注) 百貨店業合計は今治大丸(08年12月31日営業終了)を除く。今治大丸を含めた百貨店業売上高は3月度は対前年▲12.3%減。

### 2. 直営店 商品別売上高対前年増減率 (%)

	3月度
紳士服・洋品	▲17.8
婦人服・洋品	▲17.2
子供服・洋品	▲11.3
その他の衣料品	▲15.2
衣料品計	▲16.9
身回品	▲18.1
家具	▲22.4
家電	▲6.4
その他の家庭用品	▲11.3
家庭用品計	▲13.2
生鮮	▲1.7
菓子	2.3
惣菜	▲2.7
その他食料品	1.1
食料品計	0.0
食堂・喫茶	▲15.2
化粧品	▲7.2
美術・宝飾・貴金属	▲20.5
その他雑貨	▲11.7
雑貨計	▲13.1
サービス	▲6.1
その他	0.8
合計	▲12.4

### 3. 売上高概況

婦人・紳士とも売場特価など価格対応商品には動きが見られたものの、主力の春物衣料の定価商品が不振であった。身回品でも、価格対応商品は好調に推移したものの、全体では婦人靴、ハンドバッグなどの主力アイテムが苦戦した。食料品は、お取り寄せ企画などが奏功した和洋菓子が、生鮮・惣菜などその他の不調をカバーした。雑貨は、宝飾・貴金属など高額品を中心に不調であった。

## 2009年3月度 松坂屋 百貨店業 営業報告

### 1. 店舗別売上高対前年増減率 (%)

	3月度	
	売上高	入店客数
名古屋店	▲13.9	▲5.6
上野店	▲9.6	▲4.0
静岡店	▲16.8	▲9.2
銀座店	▲6.7	22.4
高槻店	▲17.1	5.8
名古屋駅店	▲13.3	▲7.1
豊田店	▲19.3	▲6.9
岡崎店	▲19.0	▲13.9
直営8店舗計	▲13.4	▲2.6

(注) 横浜松坂屋は08年10月26日に百貨店事業営業を終了、09年1月1日に(株)松坂屋と合併。  
横浜松坂屋を含めた百貨店業売上高は、3月度は対前年▲16.1%減。

### 2. 直営店 商品別売上高対前年増減率 (%)

	3月度
紳士服・洋品	▲16.8
婦人服・洋品	▲18.8
子供服・洋品	▲8.5
その他の衣料品	▲23.8
衣料品計	▲17.3
身回品	▲21.1
家具	5.9
家電	6.6
その他の家庭用品	▲14.5
家庭用品計	▲7.5
生鮮	▲25.4
菓子	▲7.0
惣菜	16.1
その他食料品	57.9
食料品計	0.3
食堂・喫茶	▲20.0
化粧品	▲15.2
美術・宝飾・貴金属	▲17.7
その他雑貨	▲43.8
雑貨計	▲19.9
サービス	▲20.1
その他	▲8.2
合計	▲13.4

(注) グループ内のシステム統合に伴い、2008年9月度から商品分類区分の変更を行っております。  
対前年増減率については、前年度実績を新しい商品分類区分により組み替えた数値と比較したものを掲載しております。

### 3. 売上高概況

衣料品は、3月の平均気温が昨年より低かったことも影響し、婦人ブラウスや紳士スーツなど春物衣料が低調であった。身回品は、婦人靴・ハンドバッグなどが春の新作を中心に苦戦した。食料品は、名古屋店、上野店の北海道物産展が好調に売上げ、食料品全体では前年を上回った。雑貨は、化粧品が苦戦し、美術品・宝飾品などの高額品も不調であった。